Suzuka - COOL CHOICE News

2021年(令和3年)
12月23日 木曜日
鈴鹿市 環境政策課
kankyoseisaku@city.suzuka.lg.jp

エコドライブ10のすすめ vol.2

前号から引き続き、エコドライブ10のすすめを掲載いたします。

ECO DRIVE POINT⑥ ムダなアイドリングはやめよう

待ち合わせや荷物の積み下ろしなどによる駐停車の際は、アイドリングはやめましょう（※1）。10分間のアイドリング（エアコンOFFの場合）で、130cc程度の燃料を消費します。また、現在の乗用車では基本的に暖機運転は不要です（※2）。エンジンをかけたらすぐに出発しましょう。

※1 交差点で自らエンジンを止める手動アイドリングストップは、以下の点で安全性に問題があるため注意しましょう。（自動アイドリングストップ機能搭載車は問題ありません。）

・手動アイドリングストップ中に何度かブレーキを踏むとブレーキの効きが悪くなります。

・慣れないと誤動作や発進遅れが生じます。またバッテリーなどの部品寿命の低下によりエンジンが再始動しない場合があります。

・エアバッグなどの安全装置や方向指示器などが作動しないため、先頭車両付近や坂道での手動アイドリングストップはさけましょう。

※2 マイナス20℃程度の極寒冷地など特別な状況を除き、走りながら暖めるウォームアップ走行で充分です。

ECO DRIVE POINT⑦ 渋滞を避け、余裕をもって出発しよう

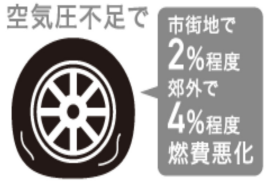
出かける前に、渋滞・交通規制などの道路交通情報や、地図・カーナビなどを活用して、行き先やルートをあらかじめ確認しましょう。たとえば、1時間のドライブで道に迷い、10分間余計に走行すると17%程度燃料消費量が増加します。さらに、出発後も道路交通情報をチェックして渋滞を避ければ燃費と時間の節約になります。

ECO DRIVE POINT⑧ タイヤの空気圧から始める点検・整備

タイヤの空気圧チェックを習慣づけましょう（※3）。タイヤの空気圧が適正値より不足すると、市街地で2%程度、郊外で4%程度燃費が悪化します（※4）。また、エンジンオイルやエアクリーナ・メンテナンスなどの定期的な交換によっても燃費が改善します。

※3 タイヤの空気圧は1ヶ月で5%程度低下します。

※4 適正値より50kPa（0.5kg/cm2）不足した場合。

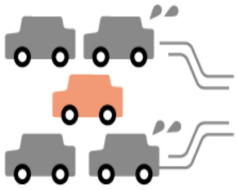


ECO DRIVE POINT⑨ 不要な荷物はおろそう

運ぶ必要のない荷物は車からおろしましょう。車の燃費は、荷物の重さに大きく影響されます。たとえば、100Kgの荷物を載せて走ると、3%程度も燃費が悪化します。また、車の燃費は、空気抵抗にも敏感です。スキーキャリアなどの外装品は、使用しないときには外しましょう。

ECO DRIVE POINT⑩ 走行の妨げとなる駐車はやめよう

迷惑駐車は交差点や付近などの交通の妨げになるばかりか、渋滞を生じさせるなどの迷惑駐車は、他の車の燃費を悪化させたりします。迷惑駐車の原因にも事故の少ない道路では、平均速度が向上し、燃費の悪化を防ぎます。



環境省が開発しているクールチョイスアプリのダウンロードはこちらから！！画面をアップすれば読み込めます。

※本文については、環境省のCOOL CHOICE編集部の記事を引用しております。